

滋賀大学経済学部附属リスク研究センター論文報奨金制度応募要項

1. 目的

リスクに関する研究の普及と本学経済学部教員の研究活動を支援するため。

2. 助成対象

本学経済学部教員が、個人または共同で行う研究で、一定基準を満たす下記7.(1)

①～③に含まれる雑誌に論文が採用、または掲載の決定がされたもの。

3. 申請期間

論文掲載日より1年以内。

4. 報奨金額

原則として、論文1編につき5万円を上限とする。

報奨金はリスク研究センター経費より該当教員の研究費に上乗せされる。

論文の字数、ページ数には制限を設けない。

※共著論文の扱いについては共著者の人数で割り、本学の教員にのみ支払う。(1,000円未満は切り捨て)

5. 採択件数

センター予算に応じて若干数 (注:学内外の他の報奨金制度と重複して受けることはできません。)

6. 申請

(1) 申請方法

所定の期間内に下記の必要事項をご連絡いただき、掲載(採用)論文と共に論文掲載日より1年以内に提出していただきます。

必要事項: 1. 掲載雑誌名

2. 掲載日(もしくは採用日)

3. 論文タイトル

4. 著者(共著者の場合、所属先名、職位)

(2) 申請書提出先

経済学部附属リスク研究センターへメールにて提出

7. 選 考

(1) 選考基準

下記①～③に含まれる雑誌に論文が採用、または掲載された場合、その対象とします。

- ① Science Citation Index Expanded (SCI-EXPANDED)
- ② Social Science Citation Index
- ③ Arts & Humanities Citation Index (A&HCI)

(2) 選考方法

上記選考基準により、リスク研究センター運営委員会において選考の上、経済学部創立 80 周年記念学術後援基金委員会が決定します。

(3) 選考結果の通知

申請者に対し、選考結果を通知します。

8. その他

広くリスクに関する理解と関心を高めるために、原則として、研究の成果を下記 3 点のいずれかの報告をいただきます。

- 8-1. 論文掲載前に本センターディスカッションペーパーを発行している事
- 8-2. 情報誌リスクフラッシュの研究紹介記事の投稿
- 8-3. センター主催の講演会やセミナーなどにおいて研究報告